【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和5年12月6日(2023.12.6)

【公開番号】特開2023-143917(P2023-143917A)
【公開日】令和5年10月6日(2023.10.6)
【年通号数】公開公報(特許)2023-189
【出願番号】特願2023-115821(P2023-115821)
【国際特許分類】
Ｇ０７Ｇ　1/00(2006.01)
Ｇ０７Ｇ　1/01(2006.01)
Ｇ０６Ｑ30/06(2023.01)
Ｇ０９Ｇ　5/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０７Ｇ　1/00　３３１Ｚ
Ｇ０７Ｇ　1/01　３０１Ｄ
Ｇ０６Ｑ30/06
Ｇ０９Ｇ　5/00　５１０Ｂ
Ｇ０９Ｇ　5/00　５３０Ｔ
Ｇ０９Ｇ　5/00　５１０Ｖ
Ｇ０９Ｇ　5/00　５５０Ｘ

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月28日(2023.11.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は、販売対象の商品に関連する表示情報を表示する電子棚札と、前記電子棚札と通信を行なうと共に、販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品と、商品棚札の取付対象となる商品とを判定する棚札管理用のコンピュータと、を有する電子棚札管理システムであって、前記コンピュータは、所定期間における販売対象の商品に関連する表示情報の変更頻度に応じて、前記販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品を判定する判定手段を備えることを特徴としている。
この判定手段によって、電子棚札の効果を最大限に引き出すことができ、投資効果を上げることができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また本発明は、上記特徴に加え、前記コンピュータは、前記判定手段によって判定された電子棚札の取付対象となる商品について、商品棚札から電子棚札への変更指示を出力する出力手段を更に備えることを特徴としている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
　また本発明は、上記特徴に加え、前記コンピュータは、前記判定手段によって判定された電子棚札の取付対象とならない商品について、電子棚札から商品棚札への変更指示を出力する出力手段を更に備えることを特徴としている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
　また本発明は、上記特徴に加え、前記コンピュータは、前記判定手段の判定対象から除外する商品を記憶する記憶手段を備え、前記判定手段は、前記判定手段の判定対象から除外する商品に対しては、前記電子棚札の取付対象となる商品とするか否かの判定を行わないことを特徴としている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
　また本発明は、販売対象の商品に関連する表示情報を表示する電子棚札と通信を行なうと共に、販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品と、商品棚札の取付対象となる商品とを判定するコンピュータからなる電子棚札管理装置であって、所定期間における販売対象の商品に関連する表示情報の変更頻度に応じて、前記販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品を判定する判定手段を備えることを特徴としている。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
　また本発明は、販売対象の商品に関連する表示情報を表示する電子棚札と、前記電子棚札と通信を行なうと共に、販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品と、商品棚札の取付対象となる商品とを判定する棚札管理装置と、を有する電子棚札管理システムとしてのコンピュータを、所定期間における販売対象の商品に関連する表示情報の変更頻度に応じて、前記販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品を判定する判定手段、として機能させることを特徴とするプログラムにある。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
　また本発明は、販売対象の商品に関連する表示情報を表示する電子棚札と通信を行なうと共に、販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品と、商品棚札の取付対象となる商品とを判定する電子棚札管理装置としてのコンピュータを、所定期間における販売対象の商品に関連する表示情報の変更頻度に応じて、前記販売対象の商品の内から

前記電子棚札の取付対象となる商品を判定する判定手段、として機能させることを特徴とするプログラムにある。
【手続補正８】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
販売対象の商品に関連する表示情報を表示する電子棚札と、
前記電子棚札と通信を行なうと共に、販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品と、商品棚札の取付対象となる商品とを判定する棚札管理用のコンピュータと、
を有する電子棚札管理システムであって、
前記コンピュータは、
所定期間における販売対象の商品に関連する表示情報の変更頻度に応じて、前記販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品を判定する判定手段を備えることを特徴とする電子棚札管理システム。
【請求項２】
前記コンピュータは、前記判定手段によって判定された電子棚札の取付対象となる商品について、商品棚札から電子棚札への変更指示を出力する出力手段を更に備える
ことを特徴とする請求項１に記載の電子棚札管理システム。
【請求項３】
前記コンピュータは、前記判定手段によって判定された電子棚札の取付対象とならない商品について、電子棚札から商品棚札への変更指示を出力する出力手段を更に備える
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の電子棚札管理システム。
【請求項４】
前記コンピュータは、前記判定手段の判定対象から除外する商品を記憶する記憶手段を備え、
前記判定手段は、前記判定手段の判定対象から除外する商品に対しては、前記電子棚札の取付対象となる商品とするか否かの判定を行わないことを特徴とする請求項１乃至請求項３の内の何れかに記載の電子棚札管理システム。
【請求項５】
販売対象の商品に関連する表示情報を表示する電子棚札と通信を行なうと共に、販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品と、商品棚札の取付対象となる商品とを判定するコンピュータからなる電子棚札管理装置であって、
所定期間における販売対象の商品に関連する表示情報の変更頻度に応じて、前記販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品を判定する判定手段を備えることを特徴とする電子棚札管理装置。
【請求項６】
販売対象の商品に関連する表示情報を表示する電子棚札と、
前記電子棚札と通信を行なうと共に、販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品と、商品棚札の取付対象となる商品とを判定する棚札管理装置と、
を有する電子棚札管理システムとしてのコンピュータを、
所定期間における販売対象の商品に関連する表示情報の変更頻度に応じて、前記販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品を判定する判定手段、
として機能させることを特徴とするプログラム。
【請求項７】
販売対象の商品に関連する表示情報を表示する電子棚札と通信を行なうと共に、販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品と、商品棚札の取付対象となる商品とを判定する電子棚札管理装置としてのコンピュータを、

所定期間における販売対象の商品に関連する表示情報の変更頻度に応じて、前記販売対象の商品の内から前記電子棚札の取付対象となる商品を判定する判定手段、
として機能させることを特徴とするプログラム。